

平成 29 年度ナラ枯れ被害調査報告等について

カシノナガクイムシが媒介する病原菌によってコナラ等の広葉樹が枯死するナラ枯れ被害は、平成 15 年度から県西部から東部に拡大し、本市においても被害が発生しています。

ナラ枯れの被害状況調査を実施しましたので、その結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 調査期間 平成 29 年 8 月 1 日～10 月 31 日

2. 被害本数 209 本 (前年度 262 本)

3. 被害本数地域別内訳 (単位：本)

	H29 年度				H28 年度 被害本数	対前年度比	
	8 月	9 月	10 月	計		増減	対前年比
出雲南部	5	8	9	22	37	▲ 15	59.5%
出雲北部	2	2	2	6	13	▲ 7	46.2%
平田地域	84	13	8	105	87	18	120.7%
佐田地域	9	6	3	18	61	▲ 43	29.5%
多伎地域	1	1	1	3	10	▲ 7	30.0%
湖陵地域	2	3	2	7	7	0	100.0%
大社地域	10	7	5	22	31	▲ 9	71.0%
斐川地域	14	6	6	26	16	10	162.5%
合 計	127	46	36	209	262	▲ 53	79.8%

4. 被害の状況

本市においては、平成 25 年度をピークに被害が減少しており、今年度の調査では対前年比で 79.8%となっています。

5. 今後の対応

- ・公園、遊歩道、公道付近など市民生活の安全確保に支障があるものを優先して防除します。
- ・被害拡大防止には、高齢木や大径木を伐採し、山林を若返らせることが必要です。「みんなでつくる出雲の森事業」などにより、伐採、搬出、木材利用等を促し森林の循環につなげていきます。
- ・被害木の早期発見・早期駆除のため、被害状況等をホームページにより市民や森林所有者にナラ枯れ被害に係る情報提供に努めます。

※参考【県内の圏域ごとの被害推移 (単位：本)】

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
東部	0	0	0	0	3	3	130	462	1,396	2,402	4,633	4,485	2,905	1,923	1,664
うち(出雲市)	0	0	0	0	0	1	24	49	1,046	1,656	2,584	1,916	917	262	209
県央	0	0	0	0	30	287	2,795	10,029	5,180	3,661	1,738	2,022	654	385	745
西部	165	368	935	1,376	2,283	3,022	4,111	15,721	5,811	605	294	176	35	290	728
隠岐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
県全体	165	368	935	1,376	2,316	3,312	7,036	26,212	12,387	6,668	6,665	6,683	3,594	2,598	3,138